



一乗谷朝倉氏遺跡博物館

ICHIJODANI ASAKURA FAMILY SITE MUSEUM

名 称：福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館

所 在 地：福井県福井市安波賀中島町

竣 工：令和4年 1月

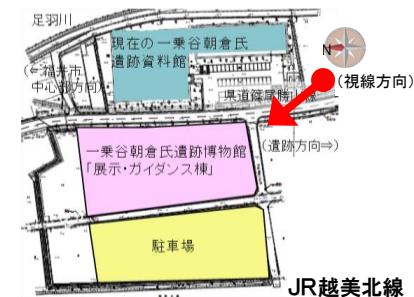
開館予定：令和4年10月

新館「展示・ガイダンス棟」 外観(南東面)

構造：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造

面積：敷地約10,000㎡（駐車場を含む）、延床約5,200㎡（うち展示面積約3,200㎡）

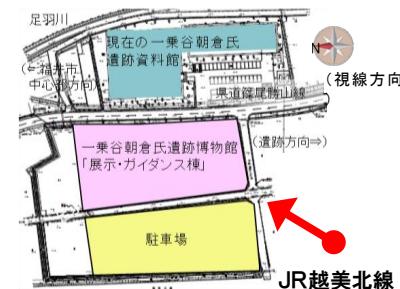
※博物館は、新館「展示・ガイダンス棟」と分館「調査・研究、収蔵棟」（現資料館を改修）の2棟で構成



新館「展示・ガイダンス棟」 外観(南西面)

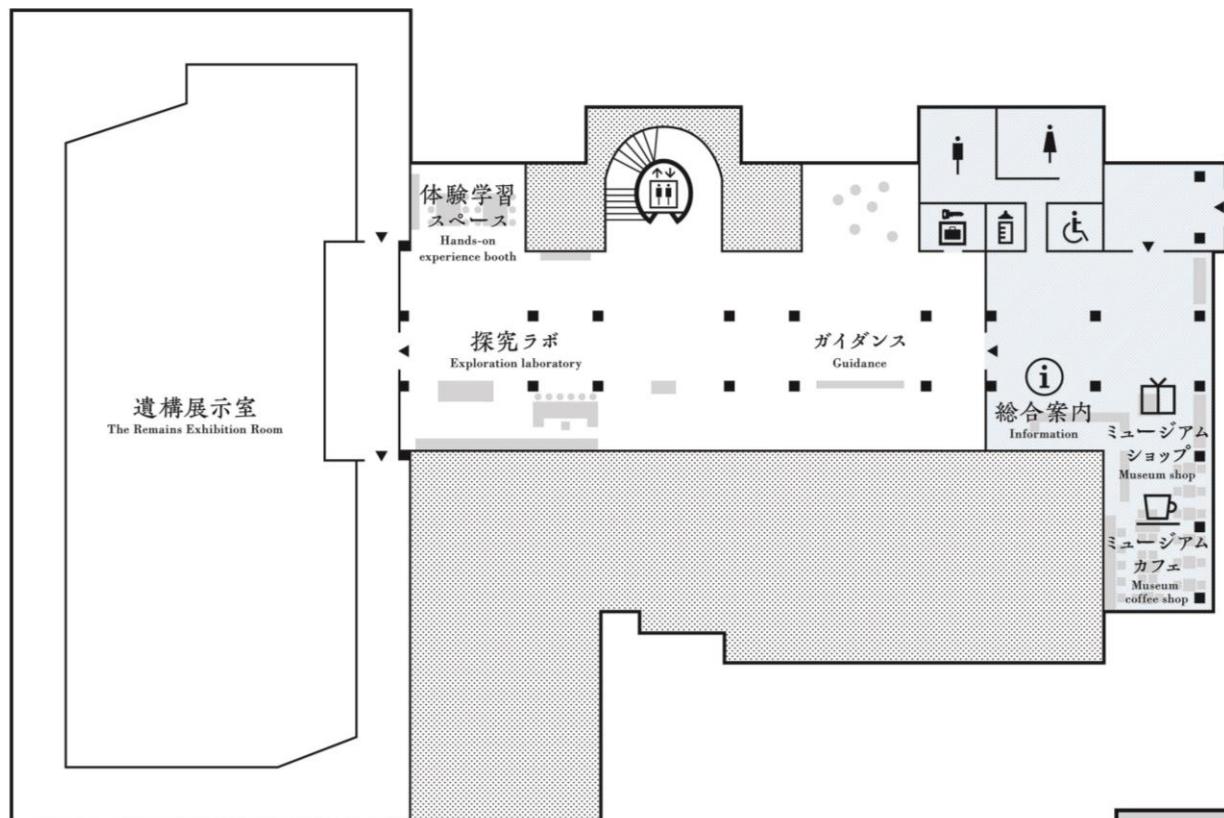
国内外で活躍する建築家 内藤 廣 氏（東京大学名誉教授）による設計

※設計・監理：内藤廣・センボー設計共同体 / 施工：(株)見谷組、永和住宅(株)、石田建設工業(株)JV / 展示：(株)丹青社



※今後、駐車場等の外構工事を行います

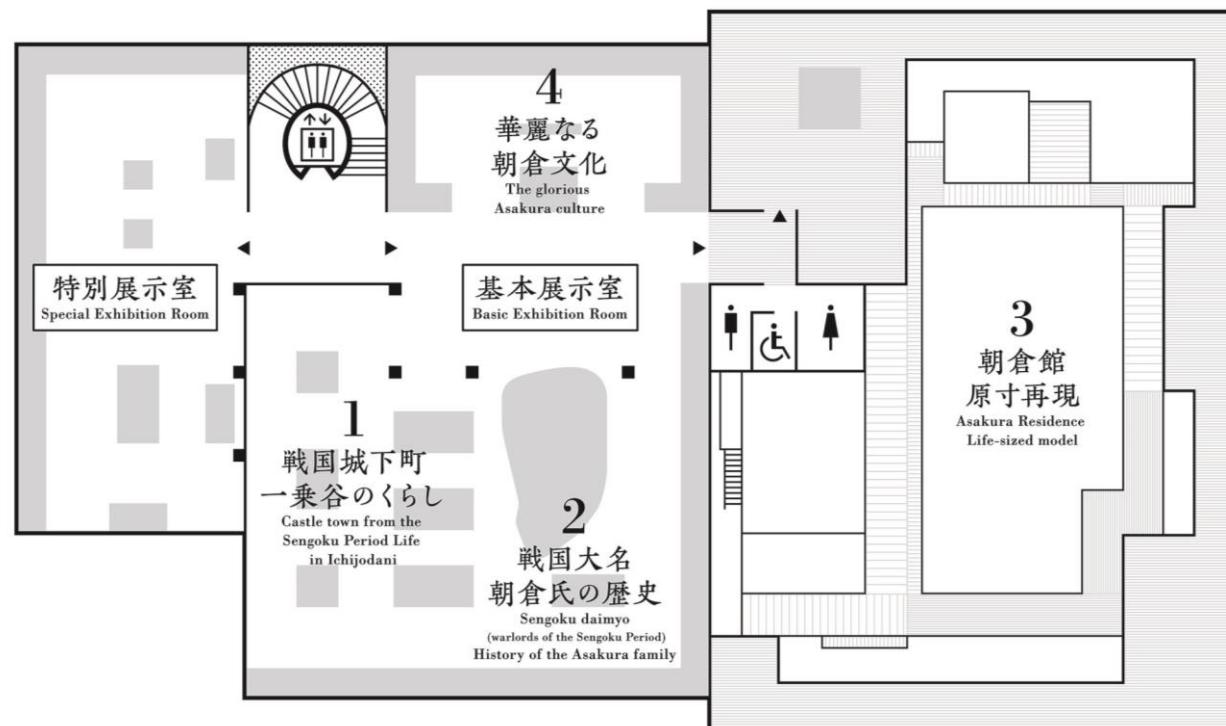
1F



常設展 観覧料	一般	高校生	小中学生	70歳以上
個人	700円	400円	200円	350円
団体	560円	320円	160円	280円
年間 パスポート	1,800円	1,000円	500円	900円

※特別展の観覧料は別に定めます

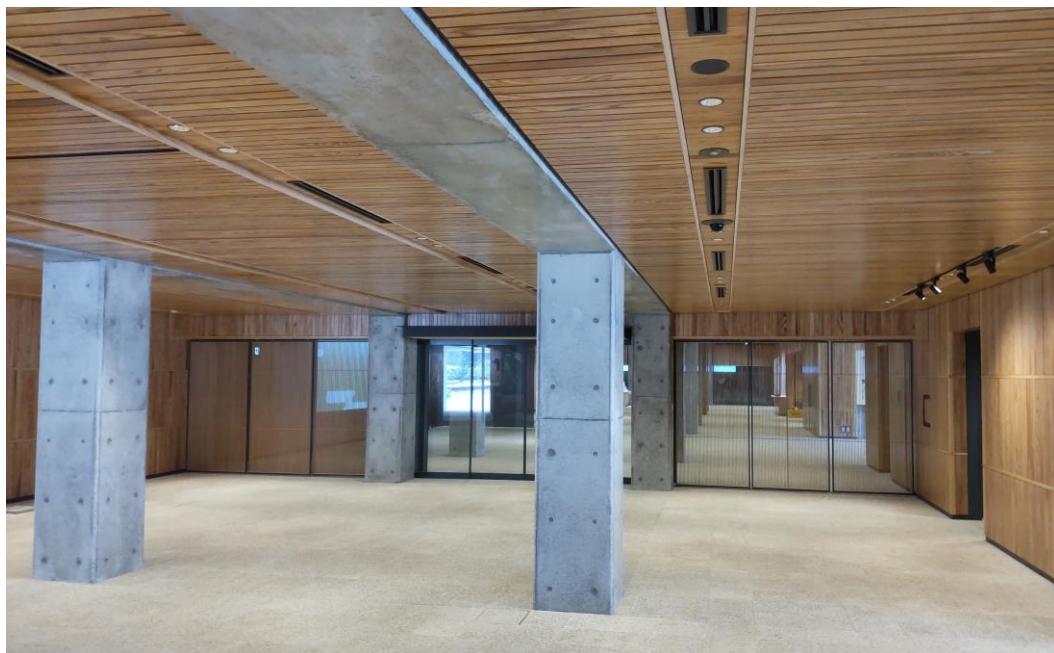
2F



※各室の名称や案内については未定稿です

新館「展示・ガイダンス棟」内観

天井や壁材に県産材を豊富に使用し、温かみのある空間に



※今後、壁面等へのサイン（案内表示）の設置を行います

ガイダンス

朝倉氏の歴史や遺跡の見どころなど、遺跡周遊に必要な情報をわかりやすく提供

来館者を迎える6メートルの大型スクリーン



朝倉氏の歴史や遺跡の見どころを紹介

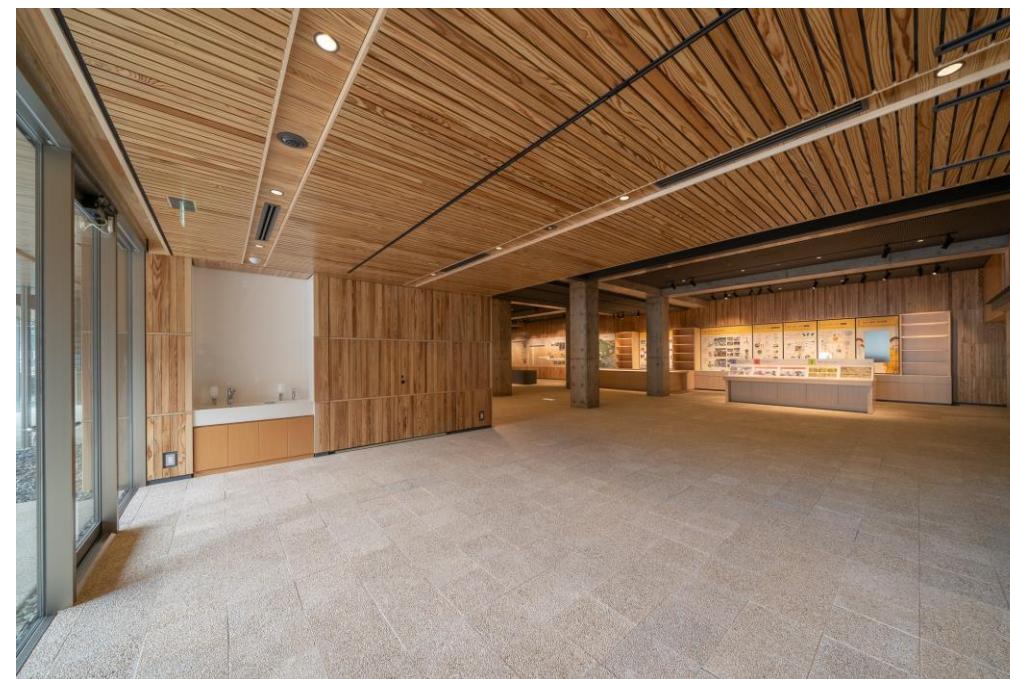


体験しながら楽しく学べるコーナーも充実

ハンズオン形式で保存科学、考古学の面白さを伝える探究ラボ



子ども向け等の体験講座を開催する体験学習スペース



※今後、必要な備品等の設置を行います

遺構展示室

かわみなと

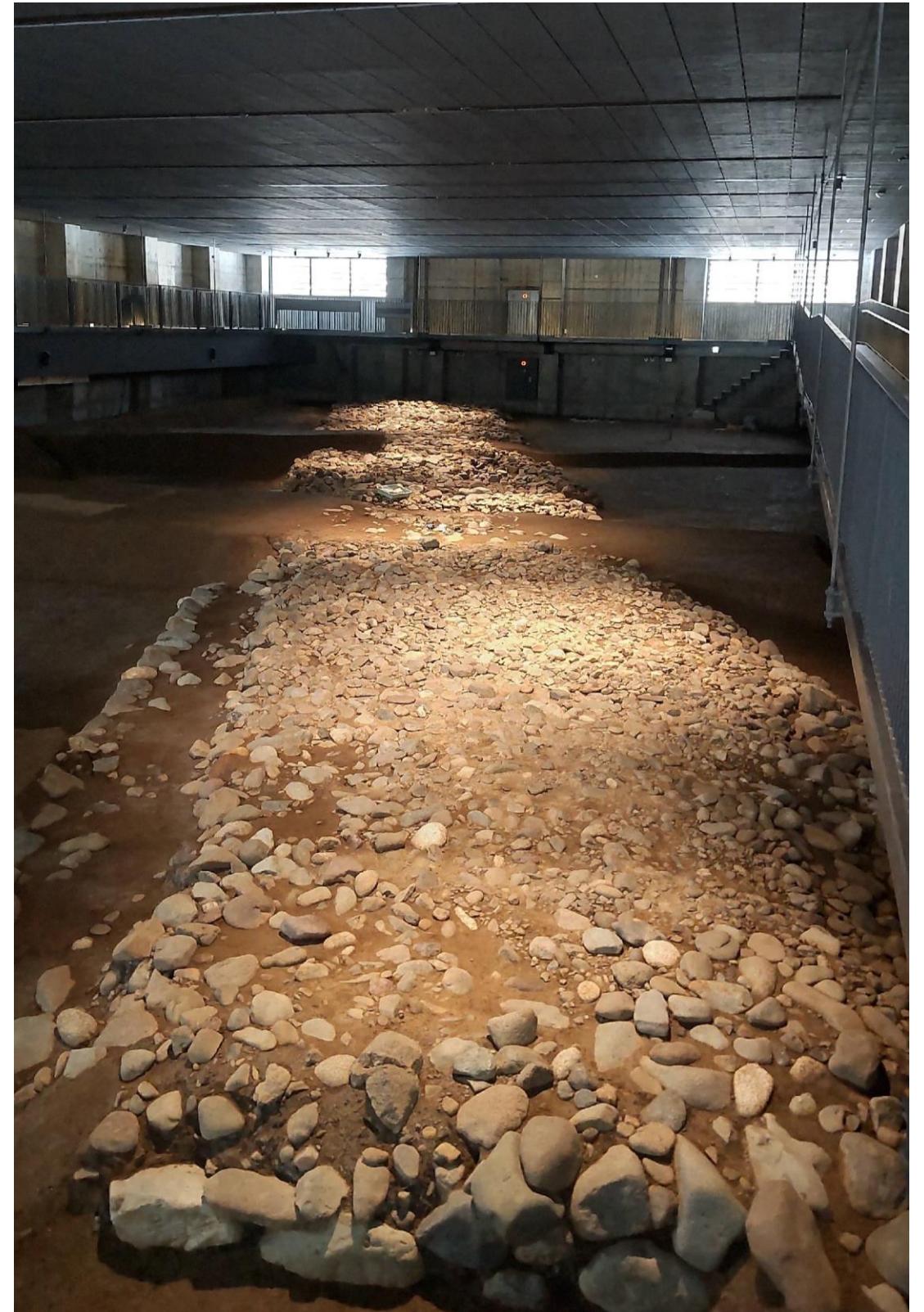
いりえ

川湊「一乗の入江」の船着場または道路と考えられる石敷遺構をそのまま露出展示



遺構展示室

都人も驚くほどの賑わいをみせた「阿波賀」の実像を映像で紹介、遺構を眺めながら当時の様子を実感



基本展示室

多様な出土品により、当時の豊かなくらしや職人たちの高度な技術、一乗谷に花開いた華麗な文化などを紹介
室町幕府や周辺大名との関係、領国支配の特徴など、朝倉氏の歴史をわかりやすく解説



※今後、展示品の陳列を行います

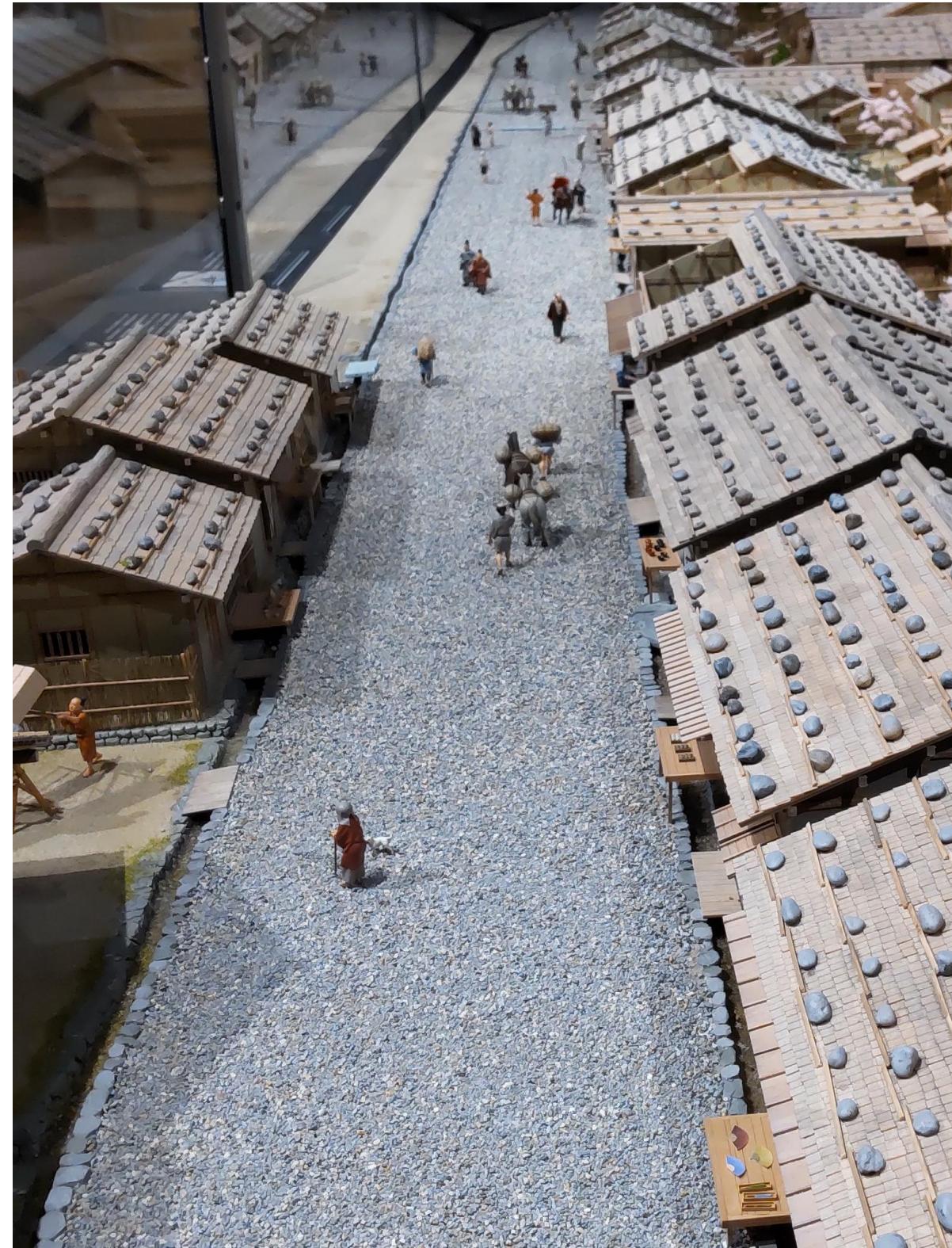
基本展示室(巨大ジオラマ)

遺跡内の平面復原地区の一部 (250m×130m) を1/30スケールで再現した巨大ジオラマ



基本展示室(巨大ジオラマ)

これまでの発掘調査・研究の成果や徹底した歴史考証により、武家屋敷や寺院、町屋などを再現
当時の一乗谷の情景を表情豊かな人形たちがいきいきと表現



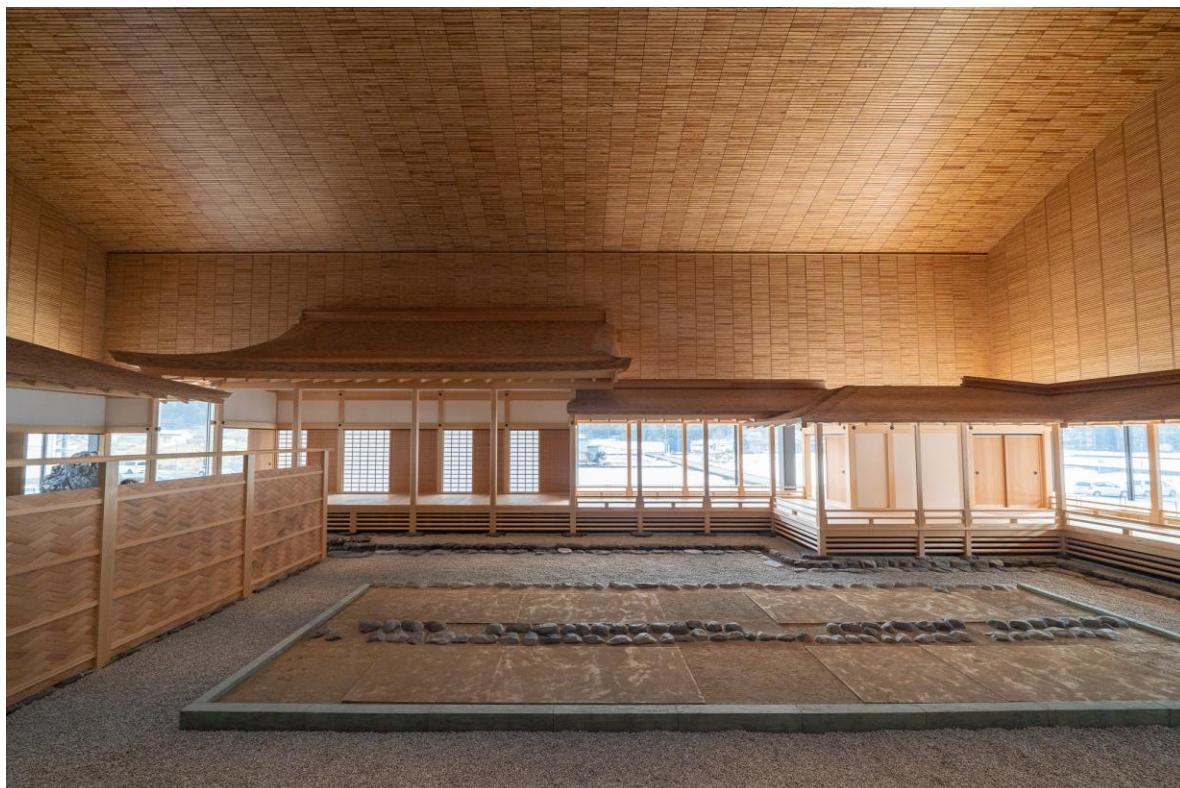
一乗谷の栄華を物語る 5代当主義景の居館の一部を原寸で再現



※写真中央の中庭部分には、越前和紙によるスイセンやキクなどを植栽した花壇を再現します

朝倉館原寸再現

朝倉義景と同じ視点で観賞や行事を体験することにより、朝倉氏が育んだ文化水準の高さを直接的に理解



【再現範囲】

- ・朝倉館の会所、中庭、小座敷、池庭等の一部
- ・会所の十二間は24畳の広さを誇る

朝倉館(障壁画再現プロジェクト)

朝倉氏のお抱え絵師であった曾我派によって500年以上前に描かれた大徳寺真珠庵蔵「四季花鳥図」を嵯峨美術大学（京都市）の協力を得て復元模写し、朝倉館原寸再現の障壁画として新たに展示

